

平成20年第1回定例会 陳情文書表 (H20. 2. 29報告)

整理番号	受理年月日	件名	陳情者	陳情の要旨
陳情第57号	H19. 12. 28	宗関橋の架け替え工事を求める要望書	丹生川町白井地区町内会長会 会長 松井修	宗関橋は、農地や山林へ通うためのなくてはならない橋なので、早期に架け替え工事を実施いただくよう要望する。
陳情第1号	H20. 1. 8	混合型血管奇形の難病指定を求める意見書の提出を求める陳情	混合型血管奇形の難病指定を求める会 代表 飯尾良英 ほか1名	混合型血管奇形の原因解明と治療方法の確立のために、混合型血管奇形の難病指定を求める意見書を提出するよう要望する。
陳情第2号	H20. 1. 22	「道路特定財源制度の堅持と関係諸税の暫定税率延長に関する意見書」の提出を求める陳情	道路整備促進期成同盟会岐阜県連合協議会 会長 可児市長 山田豊	「道路特定財源諸税法案」の審議に向けて山場を迎えるにあたり、道路特定財源の役割をご理解いただき、道路特定財源制度の堅持と関係諸税の暫定税率延長に関する意見書を提出するよう要望する。
陳情第3号	H20. 1. 24	「混合型血管奇形」の難病指定を求める意見書の提出を求める陳情	八百津町議会 議長 滝上和美	八百津町では「混合型血管奇形」の患者が国に対し難病指定を求めるための活動を行っており、当町議会でも平成19年12月議会で「混合型血管奇形」の難病指定を求める意見書を可決したところである。ついては、趣旨をご理解の上、意見書を提出するよう要望する。
陳情第4号	H20. 1. 28	ハザードマップ作成についての要望書	政治結社 三和塾 塾長 山原裕	災害避難時のハザードマップを未作成の市町村は、作成されるよう要望する。
陳情第5号	H20. 2. 13	「裁判の解決」と「原爆症認定制度の抜本的改正」に関する意見書の提出を求める陳情	岐阜県原爆被爆者の会(岐朋会) 会長 白木幸雄	原爆症認定集団訴訟の控訴を取り下げ、すべての裁判の解決を図ること及び原爆症認定制度を、被爆者の実態に即した制度に抜本的に改正することを求める意見書を提出するよう要望する。
陳情第6号	H20. 2. 14	第20回農業委員統一選挙にあたっての要望書	全国農業会議所 会長 太田豊秋	本年7月に行われる、第20回農業委員統一選挙において女性・青年農業者、認定農業者等の選任委員としての登用について特段の支援協力を賜るようお願いする。

整理番号	受理年月日	件名	陳情者	陳情の要旨
陳情第7号	H20. 2. 18	道路特定財源の確保に関する意見書の提出、決議の採択を求める陳情	全国市議会議長会 会長 藤田博之	道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立に向けて、道路特定財源の確保に関する意見書の提出、決議の採択を求める。
陳情第8号	H20. 2. 19	後期高齢者医療制度の実施中止についての意見書の提出を求める陳情	日本共産党高山市委員会 委員長 空野光治	後期高齢者医療制度を中止・撤回すること、70歳から74歳の窓口負担の2割への引き上げをやめること及び医療に使う予算を増やして、高齢者・国民が安心して医療を受けられるようにすることを求める意見書を国に対して提出するよう要望する。
陳情第9号	H20. 2. 19	後期高齢者医療制度の実施中止についての意見書の提出を求める陳情	全日本年金者組合飛騨支部 支部長 政井進	後期高齢者医療制度を中止・撤回すること、70歳から74歳の窓口負担の2割への引き上げをやめること及び医療に使う予算を増やして、高齢者・国民が安心して医療を受けられるようにすることを求める意見書を国に対して提出するよう要望する。
陳情第10号	H20. 2. 19	後期高齢者医療制度の実施中止についての意見書の提出を求める陳情	飛騨地域労働組合総連合 議長 津田吉人	後期高齢者医療制度を中止・撤回すること、70歳から74歳の窓口負担の2割への引き上げをやめること及び医療に使う予算を増やして、高齢者・国民が安心して医療を受けられるようにすることを求める意見書を国に対して提出するよう要望する。
陳情第11号	H20. 2. 19	後期高齢者医療制度の実施中止についての意見書の提出を求める陳情	新日本婦人の会高山支部 代表 河合信子	後期高齢者医療制度を中止・撤回すること、70歳から74歳の窓口負担の2割への引き上げをやめること及び医療に使う予算を増やして、高齢者・国民が安心して医療を受けられるようにすることを求める意見書を国に対して提出するよう要望する。
陳情第12号	H20. 2. 19	後期高齢者医療制度の実施中止についての意見書の提出を求める陳情	飛騨民主商工会 会長 鍵谷強司	後期高齢者医療制度を中止・撤回することを求める意見書を国に対して提出するよう要望する。

整理番号	受理年月日	件名	陳情者	陳情の要旨
陳情第13号	H20. 2. 19	「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書の提出を求める陳情	日本熊森協会 会長 森山まり子	「鳥獣被害防止特措法」関連予算を鳥獣捕殺ではなく、森の復元、被害防除に優先的に使うこと、鳥獣被害対策実施隊員に安易に公費で銃を持たせないこと、被害防止計画作成に際しては、専門家や自然保護団体を入れて作成すること及び捕獲した鳥獣は人間との軋轢がないと考えられるところで放すことを求める意見書を提出いただくよう要望する。
陳情第14号	H20. 2. 21	公共事業を防災・生活関連に転換し、関係事務所の執行体制等の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	国土交通省全建設労働組合 東海地方本部高山支部 執行委員長 下野琢也	公共事業を国民の暮らしと国土の環境保全、防災優先に転換すること、国直轄による公共事業の維持・継続、拡充を行うこと及び高山国道事務所と出張所の機構整備・充実と、業務執行体制に見合う必要な職員の確保を行うことを求める意見書を提出するよう要望する。